

環境未来都市提案書概要(様式2)

目指すべき将来像【1. (1)】:国内外から人材が集い、交流し、創造し、訪れる人も、住む人も、誰もが夢を抱き街中に元気が溢れ、経済的な成長と安全・安心で質の高い暮らしのバランスがとれた「人と環境と都市が調和のとれたまち」ユニバーサルシティ福岡。

① 課題・目標・取組方針【1. (2)】

<分類>環境
 <課題・目標>現在福岡市民が享受している暮らしやすさに全く影響することなく、CO2排出量を大幅に削減するため、自然エネルギーなどを大幅に導入し、福岡市全体で災害に対応した自立・分散型のエネルギー・マネジメントシステムの構築を目指す。
 <取組方針>
 ①自立・分散型の環境エネルギーシステムの構築
 ②環境エネルギーシステムの革新に伴う暮らしやすさの更なる向上
 ③環境エネルギーシステム、個別技術・マネジメント手法のパッケージ化と国内外への発信
 ④①～③を支える環境エネルギーのアジア人材拠点の整備

5年以内に実施する取組内容【2. (1)】

- a.「CO2ゼロ街区」における先導的取組み
- b.新設こども病院のエコホスピタル化
- c.大規模太陽光発電システムの導入
- d.風力発電(浮体式海上風力発電を含む)の導入
- e.バイオマスエネルギー活用システムの導入
- f.

※2. (1)①取組内容のみ記載すること
 ※再掲可

② 課題・目標・取組方針【1. (2)】

<分類>環境
 <課題・目標>あらゆる世代や観光客など誰もが自由に多様な手段でカーボンゼロの移動ができる都市を目指す。
 <取組方針>
 ①交通網に対応した再生可能エネルギー供給システムの確立
 ②次世代の公共交通サービスの導入
 ③次世代自動車の導入促進支援と市民のライフスタイルの転換

5年以内に実施する取組内容【2. (1)】

- a.電動バスを導入、及びバス停等への充電設備を設置
- b.小型モビリティ(一人乗用電気自動車等)をアイランドシティ内の各種施設に配置し、シェアリングを行う
- c.地下鉄七隈線延伸区間において、エネルギー利用を最適化するエネルギーマネジメントシステムなどの導入を図る。
- d.自動車の「所有」から「利用」への転換による「大都市型交通システム」の普及促進を目指し、EV車のカーシェアリング事業を展開。
- e.
- f.

③ 課題・目標・取組方針【1. (2)】

<分類>環境
 <課題・目標>博多湾の環境は大幅改善、自然・港湾・漁業が共生した持続的利用が可能な博多湾を創造し、技術移転によりアジア沿岸都市に国際貢献する。
 <取組方針>
 ①環境モニタリングやシミュレーション技術の活用による博多湾へ流入する汚濁負荷量の大幅減少、貧酸素解消
 ②干潟や藻場等と共生した港湾整備
 ③博多湾の食などの恵みをブランド化
 ④プロジェクト全体を活用した環境教育や市民活動のプログラム化

5年以内に実施する取組内容【2. (1)】

- a.博多駅周辺及び天神周辺地域において、浸水対策と連携した下水道の分流化、及び民地の分流化支援のため、工事費助成制度を運用
- b.リンだけでなく、窒素も同時に処理できる高度処理により、博多湾への窒素の汚濁負荷量を大幅削減
- c.悪臭や水質悪化の要因となっているアオサを専用船で回収し、堆肥化や、バイオマスエネルギーとして活用
- d.博多湾の恵みを題材に海の持続可能な利用の環境教育プログラム化を図り、地域活性化のために、ビジネスモデルを構築
- e.
- f.

④ 課題・目標・取組方針【1. (2)】

<分類>環境
 <課題・目標>都心部のみどりが倍増、人と生きものがにぎわうまちとなり、その再生・維持管理手法がパッケージ化され、国内外に展開される。
 <取組方針>
 ①市街化区域のみどりの増加
 ②都心部での生物の生息環境創出
 ③都心部のみどり再生・維持管理手法のパッケージ化と国内外への発信

5年以内に実施する取組内容【2. (1)】

- a.特に都心部緑被率の改善のため、「緑化地域制度」を導入し、条例の制定により、一定規模以上の新築・増築にも緑化を義務付け
- b.
- c.
- d.
- e.
- f.

複数の課題・目標を一体的に進める事項(相乗効果や副次的効果についての簡単な解説を含む)【1. (3)①】
 ・<①、②、③、④、⑤、⑥、⑦と⑧>各課題・目標はそれぞれが新たな価値を生むが、単体では自律が困難であったり一定程度の時間を要するものもあり、快適環境ショーケースにより補完し、長期に価値の総合的な創造が可能。
 ・<①、②>市内東部で開発を進めるアイランドシティで実施されるため、創エネ・省エネの先進的な取組を行うモデル地区として市民の意識喚起や成功事例として国内外への情報発信がしやすい。
 ・<③、④>海・川・山・緑で同時に自然環境・生物多様性を守ることで総合的な効果を効率的に得ることができる。

環境未来都市提案書概要(様式2)

目指すべき将来像【1. (1)】:国内外から人材が集い、交流し、創造し、訪れる人も、住む人も、誰もが夢を抱き街中に元気が溢れ、経済的な成長と安全・安心で質の高い暮らしのバランスがとれた「人と環境と都市が調和のとれたまち」ユニバーサルシティ福岡。

⑤ 課題・目標・取組方針【1. (2)】

<分類>超高齢化
 <課題・目標>高齢者を福祉・医療施策の対象から、まちの活力創出の源や社会の担い手に転換し、幸せな長寿社会をつくる。
 <取組方針>
 ①高齢者の活動の場づくり
 (雇用・都市文化・生涯学習)
 ②高齢者が活動しやすい環境づくり
 ③高齢化対応ビジネスプラットフォーム
 ④高齢者の健康増進

5年以内に実施する取組内容【2. (1)】

- a. 高齢者の活動の場や高齢者支援に関わる情報等を一元化し、必要な社会資源を集積するデータベースを構築
- b. 高齢者の能力や経験を活用し、社会の担い手とするため、様々な社会参加プログラムを開発し、マッチングを行う
- c. 高齢者の知識と経験を活かした起業やコミュニティビジネス、NPO法人設立等のための実務型教育プログラムの開発
- d. 生産緑地が残る市街化調整区域の高齢化対策と耕作放棄地対策を農村(ルリラル)と都市(メトロポリタン)の交流(ルリタン)
- e. アクティブな高齢者が主体となり、都心部にて生涯学習(天神オトナ大学)や音楽・文化等趣味でつながる活動の場を創出
- f. スポーツ施設におけるスポーツ健康管理サービス、健康関連医療サービス、スマートショッピングサービスの提供
- g. パス網の充実・高機能化を図り、バス交通の利便性を向上

⑥ 課題・目標・取組方針【1. (2)】

<分類>超高齢化
 <課題・目標>公による福祉政策偏重からの脱却、企業・市民の連携による生活支援サービスで補完する仕組み(=健康福祉コンビニシステム)への転換
 <取組方針>
 ①既存ストックを活用した民間・公的地域サービスの統合と収益モデルの構築
 ②コンシェルジュ人材育成やICT活用を通じた地域サービス創出・相互交流活性化
 ③生活支援を効率的・効果的におこなうための人材育成・技術開発
 ④ケアに関する先進技術開発・実証実験の展開

5年以内に実施する取組内容【2. (1)】

- a. 健康福祉コンビニシステムの実証・普及展開(健康福祉コンビニ、コミュニティサービス開発センター)
- b. 住民参加・技術開発型型ナーシングホームの開発普及
- c.
- d.
- e.
- f.
- g.

⑦ 課題・目標・取組方針【1. (2)】

<分類>超高齢化
 <課題・目標>研究や技術移転など、東アジアとの交流を通じて、アジアのエイジング・リーダー都市となる
 <取組方針>
 ①東アジアとのエイジング共同研究プラットフォーム構築
 ②日本式「KAIGO」など福祉・医療・衛生関連分野における資格の東アジア標準化
 ③高齢化対応サービス・製品の輸出・技術移転支援

5年以内に実施する取組内容【2. (1)】

- a. アジア太平洋アクティブエイジング会議
- b. エイジングビジネススクールの創設
- c. 東アジア高齢社会研究センターの創設
- d. エイジングJETROの創設
- e.
- f.
- g.

⑧ 課題・目標・取組方針【1. (2)】

<分類>その他
 <課題・目標>交流拠点都市という特性を活かし、環境と超高齢化対応等に関するコンテンツをビジネスにつなげる仕組みを構築
 <取組方針>
 ①有償視察・研修のプログラム作り
 ②視察・研修受入人材の育成
 ③アジア都市からの視察・研修者の誘致
 ④アジア諸都市への営業・展開人材の育成
 ⑤外販パッケージ作り

5年以内に実施する取組内容【2. (1)】

- a. 視察・研修プログラムの作り込みと、有償化
- b. アジアネットワークを活用した誘致活動
- c. 中国政府による中国公務員研修受入機関としての認定取得
- d.
- e.
- f.
- g.

・<①、⑤> 自律分散型エネルギーマネジメントシステムは高齢化対応(健康づくりなど)施設に付加することにより、有事に行政サービスや住民の受入れを果たすことが可能となり、さらに有効なリスクマネジメント手法となる。
 ・<②、⑤> カーボンゼロかつ、高齢者に利用しやすいシームレスな交通システムを総合的に構築することで、高齢者の社会参加促進になる。
 ・<④、⑤> 緑により都心部の快適性が向上し、高齢者が活動しやすい環境が形成されることにより、都心部に外出するアクティブな高齢者が増え、緑の維持管理のために高齢者の雇用の場も創出される。

環境未来都市提案書概要(様式2)

目指すべき将来像【1. (1)】:国内外から人材が集い、交流し、創造し、訪れる人も、住む人も、誰もが夢を抱き街中に元気が溢れ、経済的な成長と安全・安心で質の高い暮らしのバランスがとれた「人と環境と都市が調和のとれたまち」ユニバーサルシティ福岡。

⑨
課題・目標・取組方針【1. (2)】

<分類>その他
<課題・目標>経済的にも持続可能なICTスマートコミュニティプラットフォーム社会を構築し、住んでよし・訪れてよし、安心・安全で地域力の高い社会を実現する。
<取組方針>
①地域の多様なステークホルダー(住民・商店街・観光施設・学校・医療機関・民生委員・行政等)の地域コミュニティICTネットワークを活用したプラットフォーム構築
②公民館単位の地域放送局を構築し、インタラクティブな情報コミュニケーション社会を実現
③まちづくり会社を創設し、データヘルスマーケティング・地域通貨で支える持続可能な仕組みを構築

5年以内に実施する取組内容【2. (1)】

- a. コミュニティによる独居老人等を含む無縁社会化予防と民生委員の業務環境サポート
- b. 高齢者や子供を見守るコミュニティネットによる早期発見の仕組みを構築
- c. ICT活用した公民館放送局を創設、地域情報を共有し、人を引き出す仕組みを展開
- d. ICT活用した防災や生涯学習支援情報の配信と情報共有ネットワークの構築
- e.
- f.

※2. (1)①取組内容のみ記載すること
※再掲可

複数の課題・目標を一体的に進める事項(相乗効果や副次的効果についての簡単な解説を含む)【1. (3)①】

- ・<⑨、③>⑨の当該地区は川・海・山の豊かな自然環境を有しており、⑨の団体が住民主体に取り組むことは、歴史的観光資源も併せて活かし、環境教育ツーリズム、クリーンアップ活動などが期待できる。
- ・<⑨、⑤>⑨で行われる取組は高齢者を地域に引き出し、アクティブエイジングを推進し、ソーシャルキャピタルの向上が期待できる。
- ・<⑨、⑥>⑥の取組を⑨の地区を実証フィールドとし、企業・市民連携による生活支援サービスの機能分散型モデルの成功事例を確立することにより、市内他地域への展開の足がかりとなる。